

令和2年度宇都宮南高等学校 学校自己評価・学校関係者評価表

本年度重点目標		(1)生徒一人一人に応じたきめ細やかな指導	(2)納得のいく進路実現	(3)部活動・特別活動及び国際理解教育の充実
		①授業の充実 ②自己有用感を育む指導	①学びのポートフォリオ ②家庭学習の習慣化、面接・教育相談の充実	①生徒の自主性・特別活動及び国際理解教育の充実 ②安全確保に万全を期したうえで、自己ベストを目指す ③グローバル×ローカル人材の育成
1学年	具体目標	○自律・自立した生徒を育てる。	○基礎学力をつけるために主体的な学習を習慣づけ進路への関心を高めさせる。	○学校の諸活動に積極的に取り組ませ集団の一員として進んで貢献できる意識を確立させる。
	具体策	1) 授業へ向かう主体的な姿勢を養う。 2) 諸規則や提出期限を遵守させる。	1) 予習・授業・復習のサイクルを確立させる。 2) Classiを活用して目標設定と振り返りを実施させる。	1) 部活動、生徒会、諸行事に主体的に参加させる。 2) 地域交流、国際交流の活動に積極的な参加を促す。
	段階評価	B	B	B
	評価理由 課題・対策	1) 毎朝の自学自習が定着してきたことにより、授業に取り組む姿勢が改善され提出期限を守る生徒が増えてきた。 2) 全体的に主体的な態度がまだ乏しいことと提出期限を守れない生徒が固定してきたことが課題である。今後も学年全体で根気強く指導していく。	1) Classiを活用して進路への意識付けや目標設定はできている。 2) 課題には取り組めても自分の弱点を自発的に補う学習ができていない生徒が多い。まずは、隙間時間に自発的学習を促す指導を試みる。	1) コロナ禍により制約はあるが諸活動に対して熱意を持って取り組んでいる様子が見える。 2) コロナ禍の中で地域交流・国際交流がほとんどできていないため、Zoomで交流する取り組みを積極的に取り入れる。
	学校関係者 評価理由	B、B、B、B、B Aさん：具体的に内容の確認ができないが、自己評価BなのでBとさせていただきます。特になし。 Bさん：目標達成のための具体策が、日々の取組を行う中で、少しずつ定着しているのが見られる。主体的に取り組む態度、自発的な学習など、引き続きの指導により変化していくことを期待する。 Cさん：高校生としての自覚を持たせる努力をしている。 Dさん：適切な評価を行っており、課題や改善方法も明確に示しており問題ありません。 Eさん：4月当初は、コロナによる突然の休校などがあり生徒自身も慣れない高校生活に不安を抱えながらの1年間だったと思います。ただ、学校全体として基本的な生活習慣の改善に取り組んでいるため少しずつ改善が期待できます。		
2学年	具体目標	○基本的な生活態度を継続させ、自主的に活動できる生徒を育成する。	○進路を考え、主体的な学習に取り組ませながら基礎学力をつける。	○学校の諸活動等に積極的に取り組み、集団の構成員としての態度を確立させる。
	具体策	1) ルールやマナー、約束事を意識して守らせ、場に応じた行動がとれるよう指導する。 2) 生徒と密に接し、その場で個に応じた生活、学習指導をおこなう。	1) 授業での主体的な活動を支援するとともに、家庭学習の励行を促す。 2) 将来について考える機会を設け、自発的に進路研究ができるよう適宜助言を与える。	1) 諸活動での生徒自身の果たすべき役割を考えさせ、自主的に取り組めるよう支援する。 2) 協働し協調する心を育て、社会貢献活動への参加を促す。
	段階評価	B	B	B
	評価理由 課題・対策	1) 効果的な指導ができ、生徒の生活態度は概ね良好である。 2) 自主性が育成できていないのが課題である。 3) 指導すべき場面を見逃さず、見かけたその場での指導を続ける。普段からの丁寧な面談を続ける。	1) 家庭学習の取り組みができていない。 2) 各教科で学習の仕方を改めて指導する必要がある。 3) 進路についてアクションを起こせるよう助言し続ける。	1) 学校行事等に積極的に取り組む生徒が多く見られた。 2) 集団の中で協働ができない生徒も見られる。 3) 自分の役割を意識し責任感を持って取り組めるよう指導を続ける。
	学校関係者 評価理由	B、B、B、B、B Aさん：具体的に内容の確認ができないが、自己評価BなのでBとさせていただきます。特になし。 Bさん：学校に慣れ、基本的な生活態度の継続が難しい学年となる中、概ね良好な生活態度が見られること、学校の諸活動に積極的に取り組む生徒が多く見られたことは、効果的な指導・支援の成果である。1学年と同様、自主性の育成、家庭学習の取り組みは、重要な目標であることから、引き続き対策を講じながら、取り組んでほしい。 Cさん：生活面、学習面等で適切な指導・対応に努めている。 Dさん：適切な評価を行っており、課題や改善方法も明確に示しており問題ありません。 Eさん：基本的な生活習慣の改善、協働的な活動への意欲など素晴らしいと思います。しかし、まだ学習に対する習慣化が不足しているようなので今後に期待します。		
3学年	具体目標	○自主的・自立的な生徒を育成する。	○生徒の個性・能力に応じた進路指導を充実する。	○グローバル社会に適応し、活躍できる生徒を育成する。
	具体策	1) 時間を守り、自己管理ができるように指導する。 2) 身だしなみを整え、場に応じた言葉遣いや態度がとれるように指導する。 3) 諸活動に対して自主的に活動させる。	1) 生徒自身による進路研究と進路決定を行わせる。 2) 学習サイクルを確立させ、家庭学習を徹底させる。 3) 学習環境の整備を行う。	1) 安全確保をしながら部活動、生徒会等の行事、及び国際交流や地域連携関係の行事へ積極的に参加させ、活動を通して自分の役割を認識し、コミュニケーション能力を伸長させる。
	段階評価	B	B	B
	評価理由 課題・対策	1) 自ら時間管理をして行動するように指導した。 2) 日常的に生活指導を行い意識を高めた。 3) 校外外共に各種活動への参加を促した。	1) 自主的に進路研究を進めるようHRを中心に指導を行った。 2) 家庭学習の重要性を再認識させ取り組ませた。 3) 学校内での学習場所を複数箇所提供した。	1) 常に危機意識を持つよう繰り返し指導し各種活動に取り組む際の注意力を高めた。 2) コミュニケーション能力の重要性を理解させ、話す機会を多く持たせた。
	学校関係者 評価理由	B、B、B、B、A Aさん：具体的に内容の確認ができないが、自己評価BなのでBとさせていただきます。特になし。 Bさん：目標達成のための、具体策を細かに設定し、取り組んでいた。取組の成果は、アンケートの結果に反映されていると思われる。 Cさん：将来を見据えて指導されている。 Dさん：適切な評価を行っており、課題や改善方法も明確に示しており問題ありません。 Eさん：高校最後の年にもかかわらず、コロナ禍により生徒も先生もその対応をしながらの学校生活で大変だったと思います。その中で、共通テストなど学習面において例年並みの水準を保っているのは大変素晴らしい成果だと判断します。		
教務部	具体目標	/	○生徒の能力に応じた学習・進路指導を充実する。 ・生徒の適正や進路希望に即した新教育課程を編成する。	○国際理解教育、地域連携活動に協力する。 ・学校全体の対応として積極的に協力する。 ・HPを充実させる。
	具体策			
	段階評価		B	B
	評価理由 課題・対策		1) 教育課程検討委員会で類型を文系2コース理系1コースに決定した。履修科目や履修学年について検討を重ねて原案を編成し、県教委に仮提出した。 2) 県教委と協議しながら微調整を行い、来年度5月に正式決定する。 3) 学校内での学習場所を複数箇所提供した。	1) 講演会や活動の実施に関して、実施方法などの検討に協力できた。 2) HPの整理を行い、情報を探しやすくした。学校見学に代わるような学校紹介の情報を掲載した。 3) HPについて更新が滞っているページがあるので、定期的に更新できるようにしたい。

教務部	学校関係者段階評価	B、B、B、B、B	
	学校関係者評価理由	<p>Aさん：具体的に内容の確認ができないが、自己評価BなのでBとさせていただきます。特になし。</p> <p>Bさん：生徒の適性や進路希望に即した教育課程の編成に努めるとともに、国際理解教育、地域連携活動への協力実施のため、コロナ禍での実施方法検討への協力やHP見直しによる学校情報の提供など、やれることに取り組んだと思われる。</p> <p>Cさん：多方面にわたり、人材育成等に努力している。</p> <p>Dさん：HPの項目に「危機管理」が追加され、こちらも明確に示しており問題ありません。</p> <p>Eさん：新たな類型の検討大変だったと思います。正式決定されることを期待します。一方で、これからの時代の情報発信は重要なことだと考えます。情報停滞などがなくHPなどの更新などを含めた定期的な情報発信を期待します。</p>	
進路指導部	具体目標	○3年間を見通した計画的なキャリア教育を推進する。自己理解に基づいた、早期の進路計画の確立に努め、学力の伸長を図る。	○生徒の希望進路を実現させるため進路意識の高揚を図るとともに、生徒個々の進路希望に即した適切な進路指導を推進する。
	具体策	<p>1) 3年間を見通し計画的かつ継続的に進路指導を推進する。</p> <p>2) 課外授業や学校開放特別講座を円滑に運営し生徒の学力の向上に努める。</p>	<p>1) 部内の組織及び職務内容を検討改善するとともに、学年・教科・各部等との連携強化をはかる。</p> <p>2) 校外模試を計画的に実施し、前後の指導を強化すると共に、結果を分析し対策を検討する。</p> <p>3) 個人面接を充実させ、個々の進路希望を把握し、実現への助言指導を行う。</p> <p>4) 進路室の効果的な活用をすすめる。</p> <p>5) 進路情報を的確に捉え職員・生徒に速やかに提供する。</p>
	段階評価	B	B
	評価理由 課題・対策	<p>1) 多くの進路行事が中止となっが、10月以降の行事は感染対策を講じて実施することができた。次年度も計画的、継続的に実施したい。</p> <p>2) 1学期に実施出来なかった分の土曜課外を2学期に実施することで年間の課外時間数を確保できた。各担当の先生方に熱心に取り組んでいただいた。</p>	<p>1) 職務内容の検討を随時行った。次年度以降改訂していきたい。</p> <p>2) 今年度は校内模試は授業時数確保のため中止された。</p> <p>3) 担任の先生方を中心に適正な個人面談を行った。</p> <p>4) 古い資料の廃棄とレイアウトの見直しを行い、生徒が利用しやすい進路室になった。</p> <p>5) 大学等の進路資料や外部模試の資料の提供・回覧等を迅速に行えた。</p>
	学校関係者段階評価	B、B、B、B、B	
	学校関係者評価理由	<p>Aさん：具体的に内容の確認ができないが、自己評価BなのでBとさせていただきます。特になし。</p> <p>Bさん：学校休業により、限られた日数の中で、進路行事や年間課外事業を確保し、適切な進路指導の推進のため、進路室の整備や関連資料の迅速な提供に努めるなど、目標達成にむけ、しっかりと取り組んでいた。</p> <p>Cさん：生徒のやる気と先生方の熱心さに感心しました。</p> <p>Dさん：明確化されており問題ありません。</p> <p>Eさん：アンケート「(5) 宇南高は、生徒の進路について適切な指導や情報提供を行っている」について、生徒の強い肯定感が高まっているのは大変素晴らしい結果だと思います。また、保護者の認識も高いことも評価できます。一方で、コロナにより模試の中止など社会的な問題によって充実できなかった面もあり対応が大変だったと思います。次年度の成果に期待したいと思います。</p>	
生徒指導部	具体目標	○自己指導能力を育成し自信と誇りを持てる生徒の育成 ○いじめ防止対策の徹底	○教育相談活動などの一層の活性化
	具体策	<p>1 自己指導能力を育成し自信と誇りを持てる生徒の育成</p> <p>1) 凡事徹底と基本的生活習慣の確立</p> <p>① 制服を正しく着用させ、学校への帰属意識を高める。</p> <p>② 遅刻指導と「チャイムtoチャイム」の指導を徹底する。</p> <p>③ あいさつや礼は基本であることを意識させる。</p> <p>2) 自己管理能力の育成</p> <p>① 交通安全への意識を高め、交通ルールを遵守する態度を養い交通事故を防止する。</p> <p>② 貴重品管理の指導を継続するとともに盗難を根絶する。</p> <p>③ 整理整頓を心掛けさせ、遺失物を減少させる。</p> <p>2 いじめ防止対策の徹底</p> <p>1) 規範意識や人権意識の高揚、自己肯定感の育成</p> <p>① 改訂「いじめ防止基本方針行動計画」を周知・徹底し円滑に実施する。</p> <p>② 一般社会に通用する規範意識や礼儀作法・マナーなどを身につけさせる。</p> <p>2) コミュニケーション能力を高め、クラス内の融和を図り自主的・自律的な姿勢をもつ集団を形成させ、いじめを防止する。</p>	<p>3 教育相談活動などの一層の活性化</p> <p>1) 特別支援の体制をより充実させていく。</p> <p>2) 職員間の連携を密にし、不登校傾向生徒などの早期発見や早期対応に努める。</p>
	段階評価	B	B
	評価理由 課題・対策	<p>1 基本的生活習慣については、先生方の日々の指導により生徒の意識が変容し、確立しつつあると感じる。</p> <p>1) 制服の着用や挨拶について職員間に指導の温度差を感じる旨の意見が多く寄せられ今後の課題である。意識の共有化が課題である。また、朝の登校時指導が不要と感じられるほど5分前登校が学校全体に浸透してきた。しかし、遅刻ではない生徒への指導方法を確認する必要がある。</p> <p>2) 休校期間があったが、交通事故件数も多く、また再三指導をしても、交通マナーに対する考えが甘い生徒が目立つ。大きな事故に発展しないよう交通マナー向上と遵守の指導を継続していかなければならない。特に並進走行・イヤホン・一時停止無視の防止が課題である。机、ロッカー・棚の整理整頓も課題である。</p> <p>2 いじめに関してはからかいやそれにより生じるトラブルがあった。</p>	<p>3 学年主任、担任、相談係が連携を図り、不登校傾向の生徒への早期の動きかけができた。</p> <p>しかし、ここ数年、生徒の状況が多岐にわたり、情報共有にさらに注力する必要があると感じる。</p>
	学校関係者段階評価	B、B、B、B、B	
	学校関係者評価理由	<p>Aさん：具体的に内容の確認ができないが、自己評価BなのでBとさせていただきます。特になし。</p> <p>Bさん：5分前登校が学校全体に浸透してきたことは、先生方の指導の結果と言える。ただし、交通マナーに対する考えが甘く交通事故件数が多いことは、命にかかわることから、交通マナー向上と遵守の指導の徹底をお願いします。教育相談活動など不登校への取り組みは、今後も職員間の連携を密にし、取り組んでほしい。</p> <p>Cさん：生徒たちの状況を把握し、さまざまな方法で指導に努めている。</p> <p>Dさん：具体的に良く対応されており問題ありません。</p> <p>Eさん：5分前登校の浸透、基本的生活習慣の変容、さらには、不登校への対応など多岐にわたる生徒への動きかけについては素晴らしいです。一方、交通事故件数の増加、教員間の指導の温度差など改善が必要な点も見られます。特に、教員間の指導の違いは、生徒にとっては学校への不信感にもつながる可能性があります。大変だと思いますが、先生方の意識の共有を図る手立てについて早急な検討が必要だと感じます。</p>	

学 習 指 導 部	具体目標	○主体的に学習に取り組む態度を育成する。 ○授業改善への取組みを行う。	○家庭学習を習慣化する。 ○将来を見据えた取組みにおいて、常に振り返りを行い、改善を行う。	○自己の将来につながる課題を見つけて解決を図る探究学習を実践する。
	具体策	1) ①10分前登校と朝学の奨励 ②学習生活ノート(白ノート)やClassiの有効活用 ③教科係やホームルーム委員長など役割を通じた主体性の育成 ④人権教育・主権者教育・福祉教育・国際理解教育・地域連携活動・図書活動等の教育活動を通じた学習意欲の喚起と実践 2) ①A L 授業+ルーブリック評価の実践により授業と学習評価の一体化を図る ②授業見学の励行(授業見学週間) ③研究授業、授業研究会、教員研修会の開催	1) ①学習生活ノート(白ノート)やClassiの有効活用 ②適切な課題・小テストの実施 ③スタディサポートの有効活用 ④定期試験を通じた学習到達度の把握と個別対応 ⑤成績不振者への指導(試験前、その他) 2) ①人権教育・主権者教育・福祉教育・国際理解教育・地域連携活動・図書活動等の教育活動を通じた学習意欲の喚起と実践 ②学習生活ノート(白ノート)やClassiの有効活用	1) ①「総合的な探究の時間」の実践(グループ発表、個人発表) ②各教科における探究型学習の実践 ③地域連携活動の充実 ④人権教育・主権者教育・福祉教育・国際理解教育・地域連携活動・図書活動等の教育活動を通じた学習意欲の喚起と実践
	段階評価	B	B	B
	評価理由 課題・対策	1) 始業前登校は各学年とも定着してきており、白ノート、Classi利用も定着している。主体性の育成には時間を要すると思われるが、一つひとつの事項を着実に定着させていくことが必要である。 2) コロナ禍による学校休業に伴い、授業時数確保と授業進度の挽回が優先事項となり、じっくりと授業改善に取り組むことは困難であった。感染予防のため、各教科とも集団協議等の言語活動が制約されたことは否めず、授業見学も公式には奨励しなかったが、研究授業等の見学に臨む教員の姿が多かった。教員研修会も時勢にあったテーマで、関心を喚起させる役割は果たせた。	1) 白ノート、Classiを行事等だけではなく、日常でも有効活用できていると思われる。各教科において、課題や小テスト、成績不振者への指導等、積極的な取組が行われている。定期試験の質的向上はもちろん、評価との一体化など、課題は残されているが、熱心な取組は窺える。 2) コロナ禍により一同に会しての講話は実施できず、放送により各クラスで実施することを余儀なくされたが、落ち着いてメモを取りながら参加できる等の良い点もあったと思われる。	1) 各学年で工夫がなされ、生徒各自がそれぞれの課題を設定し、課題探究活動を年間を通して計画的に実施することができた。 2) 探究的学習を各教科において実践するにあたっては、やはり学習評価と授業の一体化を図った上で、適切な課題設定の下に行う必要があり、今後の課題である。 3) 地域連携活動もやみくもに行うのではなく、生徒に意義・効用が還元できる行事を精選していったが、コロナ禍で自粛せざるを得ない状況でもあった。その中でもできる限りの活動に取り組むことができた。
学校関係者段階評価	B、B、B、B、B			
学校関係者 評価理由	Aさん：具体的に内容の確認ができないが、自己評価BなのでBとさせていただきます。特になし。 Bさん：コロナ禍で、言語活動や講話の不可など制限のある授業を進める中で、始業前登校の実施や各教科での積極的な取組が行われ、主体的に取り組む態度の育成や家庭学習の習慣化が図られている。 Cさん：各教科ごとに創意工夫がなされ、コロナ禍でマイナス要因が多い中、プラスに変える努力をしていた。 Dさん：コロナ禍により授業進度を変えざるを得ない状況だったと思います。未達の部分や不足の部分で学習評価を強いられたことがわかります。しかし諸課題に対する改善策の具体的な記載が確認できませんでした。今後も遅れや未達の可能性が推測されるので、原因を分析し対応策を整備できるよう期待しています。 Eさん：コロナ禍の大変な年だったと思いますが、先生方の日々の学びに対する支援により生徒の主体的な学びを維持できていると判断いたします。その結果は、アンケートの中にも見られ、大変素晴らしいと感じました。一方で、家庭学習に対する保護者との連携にはまだ課題があるように感じます。課題の量ではなく、課題の質、明確な目標、達成感など生徒の学習意欲を高める方法や学校の方針を保護者と共有していくなど、大変ですがこれからの取組に期待したいと思います。			
特 活 部	具体目標	○生徒会活動の充実を図る。	○ホールーム活動の充実を図る。	○部活動の一層の充実を図るとともに適切な運営を実現する。 ○国際理解教育・インターアクト、地域連携、福祉教育との連携を図る。 ○学校行事の変更に臨機応変に対応する。
	具体策	1) 生徒会役員やホームルーム役員等としてリーダーシップをとれる生徒の育成を図る。 2) 諸行事では生徒の自主的・創造的活動の活性化を目指し積極的に緻密な企画・運営がなされるよう指導する。	1) 十分な時間数を確保し、綿密な年間計画、事前準備等により円滑な運営が行われるよう努める。 2) 学校生活の基盤としての場であるので、クラス内の融和を図るとともに、自主的・自律的な態度を育てる。	1) 部活動への参加を奨励し、個々の生徒の特性・能力の伸長を図る。 2) 礼儀正しい人間を育成する。単に技能だけを高めるのではなくお互い協力し助け合う等、社会的にも豊かな生徒を育てる。 3) 学習状況、通学状況、健康管理等、関係職員との連携を密にし、個々の生徒への共通理解の深化を図る。 4) 部活動の在り方、活動時間や練習内容など、他校の模範となる部活動運営計画を構築する。 5) 学習指導部の国際理解教育・インターアクト係、地域連携・福祉教育係と生徒会が連携を図るように留意する。 6) クラスのインターアクト委員と協力し、インターアクト活動を全校生徒に周知し協力を呼びかける。 7) 新型コロナウイルス感染症対策を速やかに実施すると共に、行事の中止、変更柔軟に対応する。
	段階評価	B	B	B
	評価理由 課題・対策	1) 今年度はあらゆる行事が中止や縮小されてしまったため十分な育成は図れなかった。 2) 感染症防止のために普段より緻密な計画・運営がなされた。	1) 休校により大幅な変更が必要になり、さらに全校生徒が集まる行事が持てなかった。 2) 全校生徒が一堂に会することができなかった分、クラス単位で活動する時間が増えた。	1) コロナ禍により時間短縮や感染症対策が求められたが、通常に近い形で活動ができる体制になった。 2) 国際理解教育や地域連携教育はほぼ実施できない状況になっているが、コロナ禍が長期化することを踏まえ新しい生活様式に適合した活動を構築する必要がある。
学校関係者段階評価	B、B、B、B、B			
学校関係者 評価理由	Aさん：具体的に内容の確認ができないが、自己評価BなのでBとさせていただきます。特になし。 Bさん：活動や行事の中止や縮小により、思うように取り組めなかったが、部活動は感染症対策をしながらほぼ活動できたことは良かったと思う。課題にもあったが、今回の経験を踏まえ、新しい生活様式に適した活動を構築する必要があるがやはり必要ではないかと思われる。 Cさん：思うように活動できなかったのは残念ですが、臨機応変に対応したり、クラス内の融和の実現に向け努力していた。 Dさん：コロナ禍による経済的な理由で部活を退部することも予想されますので、細やかなケアを期待します。コロナ禍が長期化する情勢の中で厳しい規制や制限も考えられますが、どのようにその局面を乗り越えていくかは学校の力量とサポートだと思います。「さわやか宇南」が絶えることなく、これからもサポートをよろしく願います。 Eさん：コロナ禍により多くの大会が中止になっている中、実施された大会の結果は賞賛できる内容であり、顧問の先生方の努力が窺えます。また、修学旅行についても当初の予定を変更するなど担当の先生方の努力により実施できたことは、生徒にとっては高校生活の思い出としても貴重なことだったと思います。一方で、生徒会活動や諸行事の自粛など思うように活動できなかった面も多々あるところで、次年度に期待させていただきます。			
健 康 指 導 部	具体目標	○健康の保持増進を図る。 ○気力・体力の向上を図る。	○校舎内外の美化に努め、公共物の愛護の心を養成する。 ○緑化の推進にあたる。	○防災・安全対策を確立する。
	具体策	1) 保健室運営方針に基づき、保健計画を適正に実施する。 2) 「保健みなみ」を活用し保健委員の日常活動を指導する。 3) クラス出席率99%以上を目標とする養護指導。 4) 部・各学年と連携し体育活動を通し体力の向上を図る。 5) 部活動を奨励する。 6) 体育施設・用具の整備充実を図る。 7) 校内マラソン大会の成功を期し事前準備を十分に行う。	1) 全職員が清掃監督に当たり清掃美化を徹底する。 2) 校内美化の意識を養う。 3) 校庭整備計画とともに緑化を積極的にすすめる。 4) 勤労体験の場をつくり、奉仕の精神を涵養する。	1) 消防・防災・避難計画により安全・迅速に行動するように努力する。 2) 施設・設備の定期的な点検を実施し、事故防止に努める。

健康指導部	段階評価	B	B	B
	評価理由 課題・対策	<p>1) 感染症対策を講じて定期健康診断や各行事などを実施することができた。</p> <p>2) 校内マラソン大会は実施できなかったが、代替行事を実施し、気力体力の向上に資することができた。</p> <p>3) 委員会の活動をより活発にして、生徒自身の感染予防の意識を高めるようにさらに指導していきたい。</p> <p>4) トレーニング用具の点検修繕を行いたい。</p>	<p>1) コロナ対策の一環として各HRで教室のゴミの削減に努め成果が上がった。</p> <p>2) 教室ワックス塗布、記念庭園へのパンジー植栽などを実施できた。</p> <p>3) 部活動のゴミ分別が不十分であるので、係職員の配置などを通して分別の徹底に向けた指導を強化したい。</p> <p>4) コロナ禍で校外活動ができなかったが次年度は参加したい。</p>	<p>1) 本年度より防災避難訓練を年1回としたが、各クラスで避難経路などを事前に指導しスムーズに実施できた。</p> <p>2) 施設の安全点検、修繕も行えた。</p> <p>3) 次年度も計画的に実施したい。</p>
健康指導部	学校関係者段階評価	B、B、B、A、B		
	学校関係者評価理由	<p>Aさん：具体的に内容の確認ができないが、自己評価BなのでBとさせていただきます。特になし。</p> <p>Bさん：生徒の気力体力向上のために例年実施しているマラソン大会の代替行事の実施や、感染症対策の一環として、また校内美化の意識を養うために環境美化の取組を行うなど、前向きにできることに取り組んでいた。</p> <p>Cさん：工夫をしながら実施されていた。</p> <p>Dさん：コロナ感染者が多い中、感染者が1人に抑えられているのは、学校内の徹底した「コロナ対策」によるものと思います。ただでさえ業務量が多い教職員に消毒、生徒の健康管理など、さらなる業務が懸念されます。PTAとしても、この長期化するとと思われるコロナ対策に少しでもお役に立つことがあればと思っており、PTA活動の活性化に一丸となって進めてまいりますので、よろしくをお願いします。</p> <p>Eさん：今年度は、コロナ感染症への対策として生徒の健康の維持、感染予防など例年以上に気を遣うことが多かったことと思います。そんな中、校内の美化のための植栽の実施や体力・気力向上のための代替行事の実施などは評価することができます。一方で、ゴミ分別の不十分さなどが課題としてあげられており環境問題の指導などと絡めて指導の充実を期待します。</p>		
渉外部	具体目標	<p>○学校と家庭、地域との連携をはかり、生徒の社会性を育む教育活動を推進する。</p> <p>○保護者間の連携を深め、学年部会、各種専門部会、支部会活動の充実を図る。</p> <p>○PTA、同窓会、白鷺会、各種団体との連携を図り、円滑に事業を実施し、さらなる学校発展に寄与する。</p>	/	/
	具体策	<p>1) PTA活動について、役員、学年委員、支部会部活動理事などが中心となり、学校と家庭の連携を密にして、充実した教育活動を推進する。</p> <p>2) 同窓会活動について、同窓会理事と連絡を密にしながら、連携を取り、活動を円滑に行えるように努める。</p>		
	段階評価	B		
	評価理由 課題・対策	<p>1) 今年度はコロナ禍のための学校祭一般公開とマラソン大会が中止になり、保護者による学校祭での販売やマラソン大会での豚汁づくりと関門立哨ができなかった。また「研修旅行」と「校内研修」も中止となった。しかし、広報部の広報誌「みなみ」の編集、生活指導部の「さわやか活動」、総務部の「牛乳パック回収事業」では保護者にご尽力いただいた。</p>		
渉外部	学校関係者段階評価	B、B、B、B、B		
	学校関係者評価理由	<p>Aさん：同窓会として特に今年度は何もできることがなく申し訳なく思いますが、広報誌「みなみ」のとおりスポーツ大会、学校祭、修学旅行が行えたのはすばらしいと思います。学校長を始めとする職員の皆様へ御礼と感謝。</p> <p>Bさん：厳しい状況の中で、広報誌や各部の活動がなされており、教育活動の推進に努めていた。</p> <p>Cさん：コロナ禍の中、PTA活動ができたことに感謝しました。保護者の愛情を感じました。</p> <p>Dさん：コロナ禍でも活動できている部がありますが、今後PTA組織全体としてもっと活発に活動できるよう進めていきたいと思っています。</p> <p>Eさん：保護者を交えた行事や先生方の研修機会の中止など、予想外の事態が多かった中、広報誌「みなみ」の編集、「牛乳パック回収事業」など、今年度やれる範囲で活動したことは高く評価できます。また、目標のPTA、同窓会、白鷺会、各種団体との連携が例年よりもできなかった点は、仕方ない部分でもありますので、次年度に期待したいです。</p>		
事務部	具体目標	○施設・設備の充実を図る。	/	/
	具体策	<p>1) 施設整備計画に基づき、効率的な予算執行を図り、本校の施設等の整備に努める。</p> <p>2) その他、各部との連携を密にする。</p>		
	段階評価	B		
	評価理由 課題・対策	<p>1) 施設整備計画の策定に当たっては、生徒の学習活動や部活動における安全性・快適性を確保することを主要な目的としており、例えばトイレの洋式化（令和3年度改修予定）や武道場の改修、弓道場の安全対策（いずれも令和元年度改修済）などを行ってきた。</p> <p>2) 今後も空調設備新設等について強く要望していくが、予算化が遅れがちなものもある。特に老朽化に伴って改修が必要となる設備等について、各部からの要望や安全性の確保の観点を踏まえ引き続き予算化要望を進めていく。</p>		
事務部	学校関係者段階評価	B、B、B、B、B		
	学校関係者評価理由	<p>Aさん：校内の施設・設備もそうだが、校外の環境も必要と思う。雀宮駅間や宇都宮駅までの道路・バスなどの要望も検討が必要ではないか？</p> <p>Bさん：施設整備計画に基づき、予算化に努めている。引き続き要望を進めてほしい。</p> <p>Cさん：生徒たちのため環境（学習・部活等）の整備に努力している。</p> <p>Dさん：適切な対応が示されており、問題ありません。</p> <p>Eさん：生徒が安全かつ快適に生活できる学校整備を順次行っており素晴らしいです。予算確保など厳しいところもあると思いますが、引き続きの対応を期待したいです。</p>		

※段階評価・学校関係者段階評価：①A、B、C、Dの4段階評価 ②A：十分満足できる B：概ね満足できる C：努力を要する D：一層努力を要する